

マモリンレポート

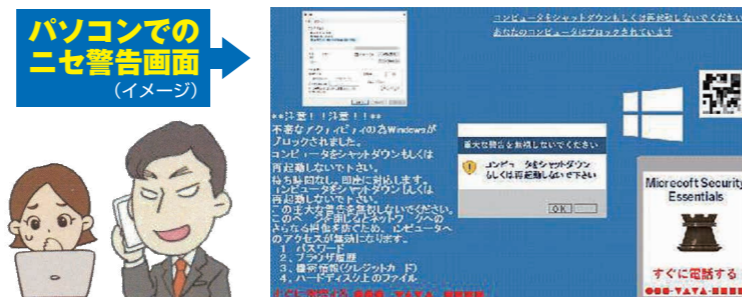
特殊詐欺被害激増中

令和3年に入り、9月末現在で被害件数653件、被害金額約8億9,800万円と、依然として被害が発生しており、中でも架空料金請求詐欺・還付金詐欺が多発していますので、その手口について紹介します

① 架空料金請求詐欺

① サポート詐欺

突然パソコンにニセ警告画面が表示され、表示されている連絡先に架電すると「ウイルス対策を行なう」と言われ、**遠隔ソフトをインストール**させられます。



後日、ウイルス感染が判明したと言われ、サポート費用として**電子マネー等購入**させられ、カードの番号を聞かれ、現金をだまし取られます。

② NTTファイナンスをかたった架空料金請求のショートメール

まず、携帯電話に知らない電話番号から「ご利用料金の支払い確認が取れていない。本日中午に050-●●●●-●●●●NTTファイナンスサポートセンターまでご連絡ください。」等といったショートメールが送られてきます。

記載された番号に電話すると「**有料サイトの料金が未納で本日中午に支払わないと裁判になる**。救済制度があり、**9割の金額は返還するので、一旦、払って欲しい**。」等と言われ、ATMでの振り込みや電子マネーカードの購入を指示されます。



② 還付金詐欺

還付金詐欺の代表手口

- 市役所です。
- 医療費の還付金があります。
- 書類届いてますか？
- 今日までなのでATMへ行って手続きして下さい。
 - ▶ATMで申請書を発行できる
 - ▶操作方法を説明するので最寄りのATMに行き、電話してほしい



○最近の傾向として **土曜日**に誘導、**無人ATM**や**窓口時間外**に支店内ATMへ誘導される傾向が見られます。



電話しながらATMを操作する人を見かけたら「それ詐欺じゃないですか?」と声かけと警察への通報をお願いします!!

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内
電話(078)362-3173 FAX(078)362-4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

(このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。)



活動紹介 1

家族・学校・地域 みんなで安全安心な 子育て

府中PTA(豊岡市)



活動紹介 2

地域で守ろう! 子ども達!!

二塚自主防犯グループ(たつの市)





家族・学校・地域 みんなで安全安心な子育て ～府中PTA～

地域ぐるみの見守り活動

府中PTAは豊岡市立府中小学校の保護者と青少年育成町民会議や地域安全まちづくり推進員等で構成され、PTA 会長が地域の防犯グループである国府子どもの安全を守る会の会長を兼任し防犯グループとの連携を図っています。

児童の下校時には、月初めに配布する下校時刻一覧表に加え、毎日防災無線を活用して下校時刻を地域に知らせて、保護者やボランティア活動員が通学路立番を実施しています。

また、毎月1日と15日を「安全の日」に指定し、PTA 会員が登下校の付き添いを実施しています。付き添い担当は当番制で決められており、当番員は防犯上気づいたことや改善事項を引き継ぎ簿に記載して、会議等に議題として取り上げ、見守り活動の改善に生かしています。

これらの活動に対して、学年末に児童から感謝の気持ちを綴った「ありがとうの葉書」がボランティア活動員に届けられ、活動員はその士気を高めています。



警察や消防等と連携した子どもの安全対策

府中PTAでは、校区を管轄する豊岡警察署府市場駐在所及び上駐在所と連携を密にし、児童を対象とした防犯講話やPTAの会議に警察官を招いて意見交換や情報共有を行なっています。同署交通課員による交通安全教室も開催し、児童の交通安全ルールの向上に努めるとともに、PTAの地区指導部員による自転車乗車ルールの注意喚起や飛び出し坊や等の設置も行なっています。

その他消防署とも連携を図り、万一の事故等に備えた心肺蘇生法講習会を実施しています。



子ども安全対策支援補助事業の活用

地域における子どもの安全確保のため、不審者対応訓練や研修会の開催費用及び研修会等で使用する防犯活動用品の購入に要する経費等の補助事業である「子ども安全対策支援事業」を例年活用し、会の活性化・通学路の安全確保を行なっています。

昨年は、会員や駐在所警察官と検討会を行なった結果、「子ども110番の家」の旗を作成し、校区内28カ所の民家等に掲示しています。



地域で守ろう!子ども達!!

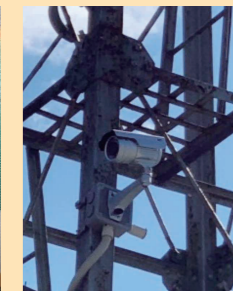
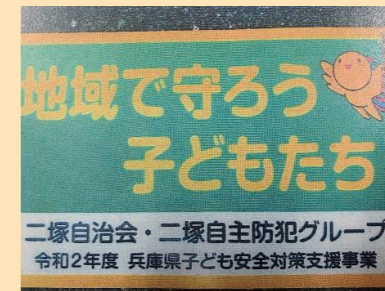
～二塚自主防犯グループ～

補助事業を活用した地域安全活動

二塚自主防犯グループでは、兵庫県や地元たつの市が実施する各種補助事業を積極的に活用して、地域安全活動を展開しています。

防犯カメラは、県及び市の設置補助事業を毎年活用して、通学路における危険箇所へ防犯カメラを設置しています。また、県が実施する子ども安全対策支援事業を毎年活用して、通学路や公園等に防犯意識を啓発する看板等を設置しています。

防犯活動の他にも、県及び市の防災支援事業を活用して、年2回防災訓練を実施、消防ホースやパイプ等を購入して災害等に備えています。



通学路の安全対策

防犯グループ会員が定期的に通学路の点検や清掃を実施し、道路の破損等があれば補修の申請を行ったり、除草作業や道路土砂堆積物除去作業等を実施しています。

また、児童の登下校時間や公園で遊んでいる時間帯には、防犯パトロールを実施するなど、地域ぐるみでの通学路の安全対策に取り組んでいます。

防犯パトロールは、老人会・婦人会・子ども会や民生委員が参加する防犯講習会で講師の警察官や消防隊員から得た知識や情報を共有したうえで実施しています。



団体の紹介

平成18年4月の発足以来、「地域で守ろう!子ども達!!」をスローガンに、上記の子どもを守る活動のほか、近年は民生委員等と連携して高齢者宅を訪問し、特殊詐欺被害防止啓発等の防犯活動を展開しています。

会長の小林憲司さんは、「子どもは地域の宝であり、住民の間での連携が重要。意見の言いやすい風通しの良い環境づくりを行い、これからも子どもの安全対策に取り組んでいきたい。」と語ります。

